

なる者、アブ バクル (3/3) : 庇者

:

明:

アブ バクルは教友たちを守るため、的 な判断、自らの 、そして影 力を用いることを惜しみませんでした。

目: [事言者ムハンマド彼の教友たちの物](#)

より: ア イシャ ステイシ

日 8 Feb 2013

集日 18 Feb 2013



アブ バクルは的 な判断力を有する人物でした。彼は、他者が な状 下において混乱しているときも、真 を判 をすることが出来ました。それゆえ、彼にとってはイスラ ムの真 を理解することがとても でしたが、ムハンマドの言 がマッカ社会における不和をもたらすであろうことを していました。マッカの支配者 は、彼らの 面、そして生活 式を危 に れるであろういかなるものをも容 することは出来ませんでした。アブ バクルは困 の がやって来ることを悟り、彼の教友である 言者ムハンマドを守ることが彼の任 である

とを感じるようになりました。二人は 日 を合わせ、イスラ ムを心の り所とし、友情を深めました。イスラ ムは三年 に渡って秘密 に められており、新ムスリムたちは信 の出来る友人たちや家族のみの でイスラ ムの教えを え合っていました。やがて神はその教えを公に めるよう、 言者ムハンマドに命じます。

アブ バクルは、多くの人々がイスラ ムを受け入れていることを支配者 が知れば、マッカでの生活が困 になることを知っていました。彼は 言者ムハンマドが庇 を必要とするようになることを感じ取っていましたが、既に彼は 去数カ月 に渡り、多くの新ムスリムたちの庇 者としての役割を果たすようになっていました。人々がどんどんイスラ ムへと改宗していくのが明らかになると、非ムスリムであるマッカ支配者 は新たな信仰を破 するための迫害 を 始しました。マッカの 部族に属した男女や子供たちは、彼らの 威による保 を得ることが出来ましたが、奴 や 者たちは特に大きな危 に直面していました。

イスラ ムの教えに一 惹かれていたのは、奴 や困 者たちでした。彼らは、平等、自由、そして唯一なる真 の神による慈悲といった言 を耳にすると、彼らの晒されている暴力から脱出し、神の慈悲と 情から安 を得ることが出来ると感じたのです。彼らは、人 はみな神の奴 であること、そして神は有力 だけでなく、全人に きと保 を与えるということを知りました。アブ バクルは裕福な商人だったため、何人もの奴 をその主人から 取り、彼らを 放することによってその を和らげました。

アブ バクルによって 放された奴 の一人に、最初に信仰者たちを礼 に呼びかけることになるビラ ル

がいました。ビラ ルの主人は、灼 の砂の上に彼を横たわせ、大きな石板を彼の胸の上に据えて拷 しましたが、彼の新たな信仰を 教させることが出来ませんでした。アブ バクルがビラ ルの置かれた状 を きつけると、彼を解放するために彼のもとへと急ぎました。アブ バクルは8人の奴 を解放しました。マッカ社会において奴 を い取って解放するという行 自体は前例なきものというわけではありませんでした。それは慈善行 とは程 い目的によってのものでした。奴 は解放されると、解放した人物に して敬意を示し保 を提供していたため、一般的にマッカの富裕 は肉体的に れ、逞しい奴 を解放して

アリ はさらに、ムスリム国家として最初の 争となったバドルの いにおいて、ムスリムたちは 言者ムハンマドが最前 に立とうとするのを拒み、 部に彼のためのシェルタ を造りました。 が 言者を防 するかという になった 、前へ み出たのはアブ バクル だけでした。 言者ムハンマドが、彼の小国が 利するよう祈るため、しばらくシェルタ の中に留まると、アブ バクルは鞘から引き いた を え、彼の教友へのいかなる危 をも 逃さぬよう、用心深く していました。

いが本格化すると、 言者ムハンマドは中央部 を率い、アブ バクルは右 へと回りました。二人は苦 を共にしたのはもちろん、あらゆる状 においても 束していたのです。アブ バクルは、イスラ ムへの奉仕のために自らの と能力を 牲にするのを わない模 的な人物 だったのです。

称 の言

アリ ブン アビ タ リブはまた、アブ バクルの葬 における式辞を述べています。以下の引用は、 言者ムハンマドに最も近かった 近に する称 の言 のごく一部です。

“あなたは他者が彼を 放した 、他者が援助を打ち切ったときにも、彼を助け、不幸な 状 でも断固たる意思を示した。

“あなたの声は最も低かったが、名声は最も高かった。あなたの会 は最も模 的で、判断は最も的 であった。あなたの沈 は最も かったが、演 は最も雄弁であった。人々の中でも最も勇敢、かつ知 に れ、行 には威 があった。”

彼こそが、庇 者 アブ バクルなのです。

Footnotes:

1 サヒ フ ブハ リ

2 サヒ フ ブハ リ

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/1959>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。